



WLAN セキュリティ

- AAA Override について (1 ページ)
- レイヤ 2 セキュリティの前提条件 (1 ページ)
- WLAN セキュリティの設定方法 (2 ページ)

AAA Override について

WLAN の AAA Override オプションを使用すると、WLAN で Identity ネットワーキングを設定できます。これにより、AAA サーバから返される RADIUS 属性に基づいて、個々のクライアントに VLAN タギング、Quality Of Service (QoS)、およびアクセス コントロール リスト (ACL) を適用することができます。

レイヤ 2 セキュリティの前提条件

同じ SSID を持つ WLAN には、ビーコン応答とプローブ応答でアドバタイズされる情報に基づいてクライアントが WLAN を選択できるように、一意のレイヤ 2 セキュリティ ポリシーが設定されている必要があります。使用可能なレイヤ 2 セキュリティ ポリシーは、次のとおりです。

- なし (オープン WLAN)
- WPA+WPA2



注

- 同じ SSID を持つ複数の WLAN で WPA と WPA2 を使用することはできませんが、同じ SSID を持つ 2 つの WLAN は、PSK を使用する WPA/TKIP と 802.1X を使用する Wi-Fi Protected Access (WPA) /Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) で設定するか、802.1X を使用する WPA/TKIP または 802.1X を使用する WPA/AES で設定することができます。
- TKIP サポートが設定された WLAN は RM3000AC モジュールでは有効になりません。

-
- スタティック WEP (Wave 2 AP ではサポートされません)

WLAN セキュリティの設定方法

静的 WEP レイヤ 2 セキュリティ パラメータの設定 (CLI)

始める前に

管理者特権が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <pre>Device# configure terminal</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	end 例： <pre>Device(config)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

WPA + WPA2 レイヤ 2 セキュリティ パラメータの設定 (CLI)

始める前に

管理者特権が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	security wpa 例： デバイス(config-wlan)# security wpa	
ステップ 3	security wpa wpa1 例： デバイス(config-wlan)# security wpa wpa1	を有効にします。
ステップ 4	security wpa wpa1 ciphers [aes tkip] 例： デバイス(config-wlan)# security wpa wpa1 ciphers aes	WPA1 暗号を指定します。次のいずれかの暗号化タイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • aes : WPA/AES のサポートを指定します。 • tkip : WPA/TKIP のサポートを指定します。
ステップ 5	security wpa wpa2 例： デバイス(config-wlan)# security wpa	WPA2 を有効にします。
ステップ 6	security wpa wpa2 ciphers aes 例：	WPA2 暗号化を設定します。
ステップ 7	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

■ WPA + WPA2 レイヤ 2 セキュリティ パラメータの設定 (CLI)